



- 赤い線が3倍のライン。
- 前期入試に関しては、安定して3倍以上を保っている。
- 推薦入試やAOや総合型選抜は2倍程度で安定している。

- 青い線が15倍のライン。
- 後期入試についても、安定して15倍程度で推移している。
- 後期は、半分程度は欠席となるので、注意が必要



$$\text{教員就職率} = \frac{\text{教員就職者数 (臨時教員も含む)}}{\text{卒業者数} - \text{大学院進学者数} - \text{保育園就職者数}}$$

- ▶ 平成29年度によやうく全国平均を上回って以降は、ずっと全国平均を上回っている。
- ▶ 令和2年度以降は、70%を越えて、80%に近づいている。(現在の目標は80%)
- ▶ 令和3年度は、全国の教員養成系の教育大学、学部の中で、教員就職率が5番目に高くなっている。ただし、上位4校は全て80%を越えており、少し水をあけられている。

令和5年度ひなた教師セミナープログラム

宮崎大学公式チャンネルで紹介中

https://www.youtube.com/watch?v=z_0zhOqZF9Q-

【使命感・情熱】・【リーダーシップ・協調性】・【学ぶ意欲・素直さ・謙虚さ】・【チャレンジ精神・積極性】

【前期】

- ① 「ひなた教師セミナー」開講式
講話・演習：受講の心構え
- ② 講義・演習・協議：宮崎県の小学校教員の魅力を理解しよう
- ③ 講義・演習：教育実習現場を理解しよう
- ④ 講義・演習：学習指導の基本を学ぼう
(〇〇科授業の進め方を通して)
- ⑤ 小学校訪問：学校現場を理解しよう
- ⑥ 面談：前期を振り返ろう

【後期】

- ⑦ 講義・演習：学級経営を理解しよう
- ⑧ 講義・演習：〇〇科授業の進め方を学ぼう
- ⑨ 講義・演習：教育相談の進め方を学ぼう
- ⑩ 講義・演習：授業におけるICTの活用方法を知ろう
- ⑪ 小学校訪問：学校現場を理解しよう
- ⑫ 面談：1年間を振り返ろう

【2年生対象のプラスアルファ・プログラム】

- 特別支援教育級経営を理解しよう
- 組織や学校経営について理解しよう
- 地域や保護者への対応力を身に付けよう

◆県教委からの要望

- 令和2年10月に宮崎県教育委員会より教育学部の定員を50名増の要望書を頂いた。
- 主な要因は、小学校教員の不足に対応するため。また、将来的には中学校教員の不足も懸念されていた。

◆大学としてのこれまでの対応

- 令和3年2月文科省と事前相談（定員を30名増やすことはできないか？）→ 大学の定員を純増することは難しいという回答であった。
- その後、**農学部から20名の定員を移動させることで、教育学部の定員を20名増やす方向で検討を進めた。**
- 教員志望の高い学生を選抜するために、令和3年度入試から一般選抜の**全受験者に対して、面接を実施**
- 令和3年度入学生から、小中一貫教育コースの主専攻のうちわけを変更。**中学校主免専攻を5名減らし、小学校主免専攻を5名増やした。**
- 令和4年度に、文科省と事前相談のうえ、令和6年度入学生より、**教育学部の定員を20名増員すること**で了解を得られた。

令和6年度入学生より、学部学生定員を
現状の120名から140名へ

